

1 世の中の動きと変化をつかむ

- なぜ、世の中の変化をつかむ必要があるのか。
- 成長社会から成熟社会へ変わったと言われるが、何がどう変わったのか。
- 世の中の変化から、なぜ「主体的・対話的な深い学び」が必要だと言われるのか。
・「20世紀成長社会」→「21世紀成熟社会」(成長社会とは? 成熟社会とは?)
- 求められる学力とは何か?

2 「観」を育てる。(物の見方・考え方を育てる)

- 教師である前に、一人の人間としての成熟を目指すことが必要ではないか。
・大人も子どもも同じ。認められればうれしい。褒められればやる気になる。
・自分のことを理解してくれる人には心を開く。
- 物の見方・考え方を育てるうえで読書が果たす役割
・時を超え場所を越えた先人から1対1で講義を受ける。(独学の神髄を味わえる)

3 自分らしさ(オリジナル)で勝負していく

- 自分の感性をもとに、自分の言葉で自分らしく伝える。
・自分の「核」を成すものを自分の言葉で伝えることは難しいが、楽しいこと。

4 人まねではない、自分なりのリーダー像を描き、自分を表現する

- 100人いれば、100人のリーダー像がある。
・役職で生きているのではない。人としてどう生きるかが大切。役職は社会の役割分担の一つであり、今の役職は今与えられた役割分担だという意識が大切。最後は、「その人」。

5 自分を開示し「自分の人となり」を理解してもらう

- 自分自身を理解してもらったうえで、経営方針を理解してもらう。(対職員)
・学校経営方針の背景にある「教育観」「児童観」等を伝えることで、言葉としての共有だけではなく、文脈として共有されることが共通実践につながる。
- 自分自身を理解してもらったうえで、経営方針を理解してもらう。(対保護者・地域)
・「学校だより」として、校長としての「教育観」「児童観」を表現した内容を示し、学校経営を理解していただく。

6 人を活かす

- 主任会をとおして学校的意思決定に参画してもらう。
・当事者意識をもとに、職員の「横のつながり」と「縦の連絡」が活性化する。
- その人の「よさ」を把握し生かす(適材適所)
「堂塔の木組みは寸法で組まず木の癖で組め」(西岡常一著「木のいのち木のころ(天)」草思社)
※建物をくみ上げるのに寸法は欠かせないものだが、それ以上に木の癖を組むことが大切だ。

7 危機管理能力を高める

- 金曜日の夕方入った連絡は、要注意。
・「土日をおいて、月曜日に対応しよう」では遅い。
- 「何か気になるなあ」(直感力) そう思ったことは確実に事が大きくなっていく。
・「まあ、いいか」を一押しして対応。「いいですよ」。それでも「行かせて下さい」この一押し。

- 職位が上がればより高い視点から広く遠い世界が見えてくる。
 - ・垂直に立てたはしごからながめた景色のようなもの。

8 社会性をもった視点に立つ

- 学校の中だけで、通用する文化に浸っていないか。(ローカルルールであることに気付く)
 - ・本質は、何かを捉えることが必要であり、ローカルルールであることを認識する賢さが必要。
- 考える機会を奪っていないか。
 - ・失敗を恐れ、自分の考えを封印し、指示されたことを指示された通に行動に移すことしか考えない人間を育てているのではないか。

9 自由な発想から行事を組み直す

- コロナ禍の修学旅行からの企画から
 - ・価値をどこに置くか。「省いたもの」と「新たに加えたもの」の総和から児童に何を学ばせるか。

10 人材育成が未来を拓く

- 自分が「そう考えた理由」の思考過程を伝えていく。
 - ・何を優先して解決策を導いたのかを具体的に伝える。
- 校長の時には、教頭先生に年間を通じて校長が今何をしているのかを、リアルタイムで伝えてきた。
 - ・「これまで学んできた全てをあなたに伝えます」このメッセージを伝え実行する。

11 仕事を効率的に進めるための工夫

- 自分の考えを創り上げる→日常生活の中にトレーニングを落とし込む。
 - ・書くことで思考力を鍛える→出張を振り返り10分間の制限で学びをまとめる。
- 1冊のノートに全て書き留める。
 - ・忘却を防ぐとともに、メモを見れば確認できることから緊張感の軽減につながる。
- 10年日記の効用
 - ・過去の自分と今の自分との比較→成長した自分を実感できる。→人は変化し成長するという自覚。
- 悩みから解放されるための方策(私の方法)
 - ・悩みとして頭の中にあるものを全て箇条書きにして見える化し、対策を立てる。(50個書き出す)

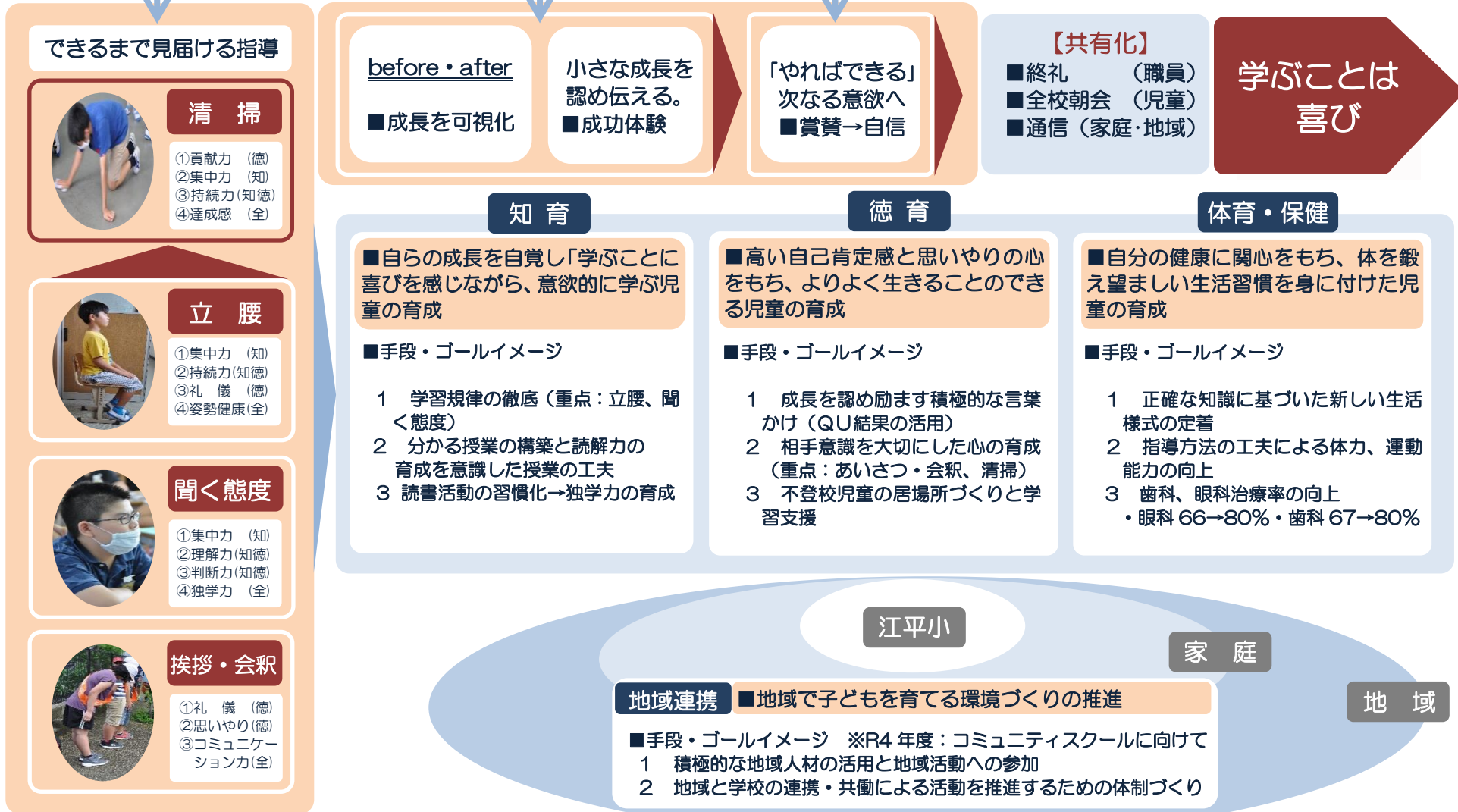
12 大切にしている考え

- 自分自身が「学ぶ」ことは「喜び」を感じながら学び、そのことを伝えられる人間でありたい。
 - ・学ぶことの本質を理解させる。
- 「読・書・問」の教育
 - ・日々情報が更新される中であっても、正しく読み、正しく書き、正しく問う能力を身に付ける。
- 教師の魅力を味わいつくす
 - ・教師は、成功した経験だけではなく、失敗や挫折も含めた自分の人生を丸ごと生かせる職業である。
- 若さは、神様が平等に与えた期間限定の特権である。
 - ・若さを無くした時に、勝負できる「自分」を創り上げておく。
- 解決すべき問題に直面した時の指針

■神よ、変えることのできないことは、それを受け入れるだけの心の落ち着きを与え給え。変えることのできることはそれを変えるだけの勇気を与え給え。そして変えることのできることと、できないこととを見分ける知恵を授け給え。

(神学者 ラインホルト・ニーバーが1934年マサチューセッツ州の田舎の教会で祈った言葉)

基礎力の定着とフィードバックにより、自己肯定感を高め、「学ぶことに喜び」を感じながら意欲的に課題に取り組む児童を育成する。



学校経営方針 見える化

宮教研連 講話 構想 23/03/0

年齢の若い人 同級生が少なくなる 大人の親が少なくなる

日記 - 宿大さの日記 書くの忙
- 時期 192 区9人の日記+日記
胸襟を聞く 同級生との関係

不登校の母親会
見えない部分の2種類
期間限定の集まり
深刻な問題の存在

大人の日記の目的

- 親の日記は子供のために書くものではない。自分自身のために書く。
- 自分の事と子供を区別して書く。大人は大人として書く。
- 自分の事を書く。子供の事を書く。両方を書く。
- 自分の事を書く。子供の事を書く。両方を書く。
- 自分の事を書く。子供の事を書く。両方を書く。

人間観

人間観の重要性

- 人間観の重要性
- 人間観の重要性
- 人間観の重要性
- 人間観の重要性

教科活用

教科活用の重要性

- 教科活用の重要性
- 教科活用の重要性
- 教科活用の重要性
- 教科活用の重要性

危機管理

危機管理の重要性

- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性

日常の苦悶

日常の苦悶の重要性

- 日常の苦悶の重要性
- 日常の苦悶の重要性
- 日常の苦悶の重要性
- 日常の苦悶の重要性

危機管理

危機管理の重要性

- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性
- 危機管理の重要性

役割分担

役割分担の重要性

- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性

役割分担

役割分担の重要性

- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性

役割分担

役割分担の重要性

- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性
- 役割分担の重要性

① 読み手 → 本を読む人は、ある題材について、その本の内容を自分の気持ちで話し合っている。 = 読み手 = 読み手は自分の気持ちで話し合っている (7/21/23)

命令が好きというリーダー役を演じるは 宮本重門「引き寄せの力」NHK出版新書

文化としてのその上のところの...
命令が好きというリーダー役を演じるは 宮本重門「引き寄せの力」NHK出版新書

命令が好きというリーダー役を演じるは 宮本重門「引き寄せの力」NHK出版新書
命令が好きというリーダー役を演じるは 宮本重門「引き寄せの力」NHK出版新書
命令が好きというリーダー役を演じるは 宮本重門「引き寄せの力」NHK出版新書

命令を理解しよう

命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう

命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう

命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう
命令を理解しよう

命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成
命令の再構成

朱楽が過去の所歌を愛えり
小池一夫

藤原和博

(注) 掘

NO.3

この物事は多面的に見ておけ

指導者

実践

組織論(人論)

不問のふたりの(西岡常一) (集思社)

目的

木の痛を治す、病を治す

聖塔の基礎をどう築くか、組織の目的をどう定めるか

建物の組み立てる手法は足かせもなければ足枷もない

木の痛を治すには木を切らなければならない
木を切らなければ木は死んでしまう
木を切らなければ木は死んでしまう

仕事は知能の連続として、その工夫

仕事効率化

口の中を清潔にする

具体的

Xを著る(2000) 著者の生きた

朝型の時間活用

世の中を知る

世の中の流れを把握する

今この世の中をどう見ればいいのか

言葉だけでは知るのではなく、その本質を知る

背景を知る必要がある

何故、対話の主体が何者なのか、必要とされているのか

その背景と自分の言葉の語彙が?

Xyze-311

教師は、成功の経験ではなく失敗の経験

成功の経験、成功の経験、成功の経験、成功の経験

恵まれた環境、裕福な環境、豊かな環境

おぼろげに育つ環境

全ての経験は生かせる職業です

目の前の仕事の中に、教員の仕事は、

そんな仕事の中に、

志はいいけれど、
佐伯 夕利子 (小学館編集)
Saeki Yuriko

方法論

自由な発想を促す
これは、聖徳太子の時代

小学館の時代、小学館の時代、小学館の時代、小学館の時代

又別の監督、この監督、この監督、この監督、この監督

今、世界は、この世界、この世界、この世界、この世界

人材育成

人材育成

人を育てる

企画、段階、目標、時間、場所

何を為すのか

学校で何を教えるのか

元々の文化

文化、以上

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

通用可能なものは、

学習の何かが、近頃の
自分を見つめる。(中略)

他人と比較するのは、
自分の可能性を、
感じることが、
感じることが、